

令和7（2025）年度 就職先アンケート調査報告書

1. 目的

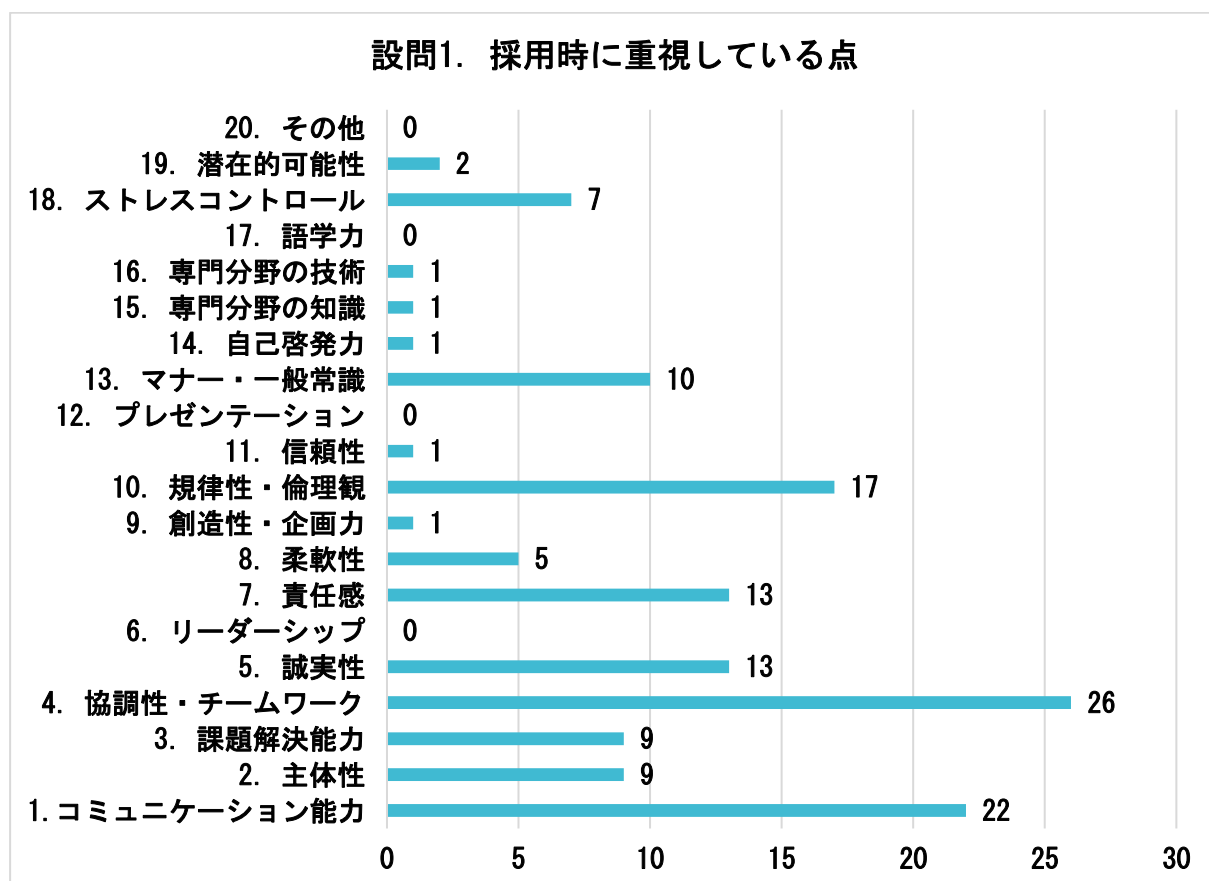
卒業生の就職先にアンケート調査を行い、本学の教育改善を図るための参考資料として活用する。

2. 方法

- 1) 調査期間：令和7（2025）年8月7日（木）～8月22日（金）
- 2) 調査対象：令和5年度卒業生採用の51施設
- 3) 回答方法：書面またはGoogle フォームいずれかによる回答
- 4) 設問内容：別紙参照
- 5) 集 計 数：依頼51件中27件回答（Google フォーム22件、文書5件） 回答率53%

3. 集計結果

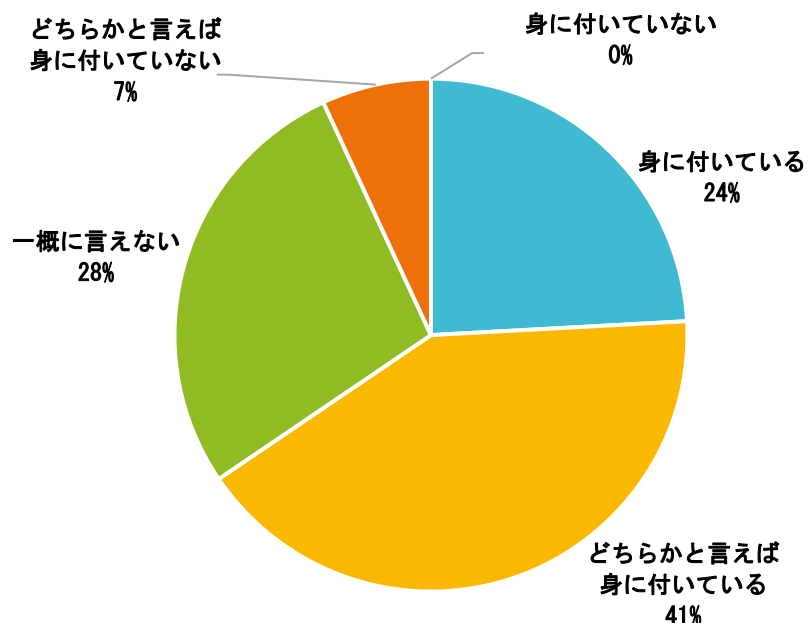
1) 設問1 看護師・保健師として採用時に重視している資質・能力について（複数回答）



ほとんどの施設が「協調性・チームワーク」「コミュニケーション能力」と回答していることから、採用する際は多職種連携に関連した能力を重視していることが窺えた。次点では、「規律性・倫理観」「責任感」「誠実性」等の回答が多く、社会人としての人間性を重視している傾向が見えた。

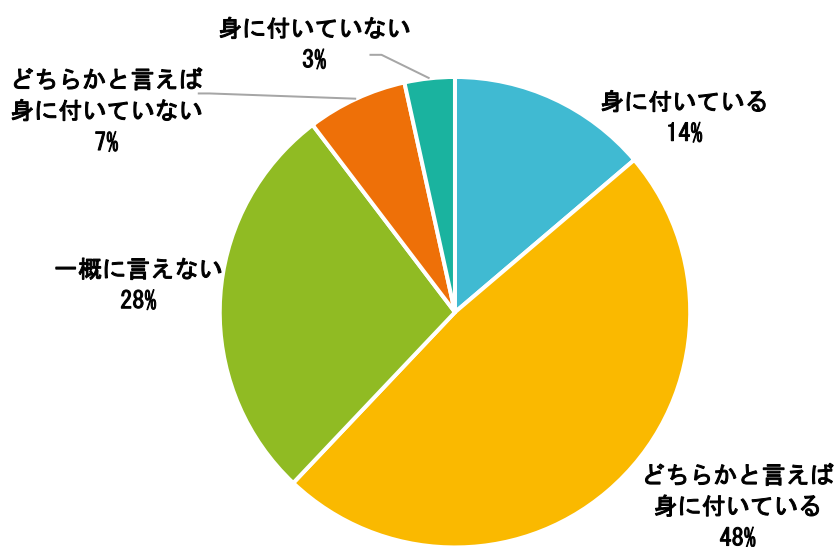
2) 設問2 本学が掲げる DP6 項目が卒業生に身に付いているかどうかについて

設問2. 卒業生に身に付いている知識や能力：①人間力



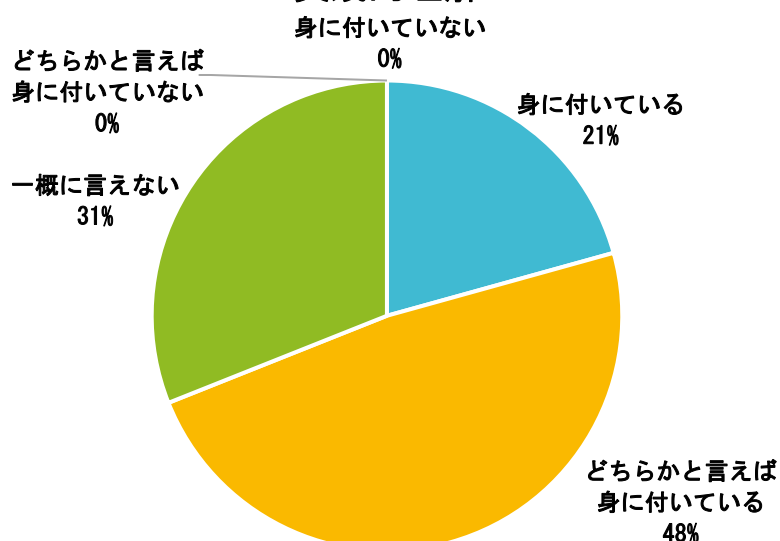
項目①「人間力：周囲の人々とコミュニケーションを通して理解し合い、共感し合い、協働することができる。」では、「身に付いている」「どちらかと言えば身に付いている」の合計が 65%と高く、本学卒業生には他人と係る人間力が備わっている傾向であることが分かる。

設問2. 卒業生に身に付いている知識や能力：②ケア・スピリット



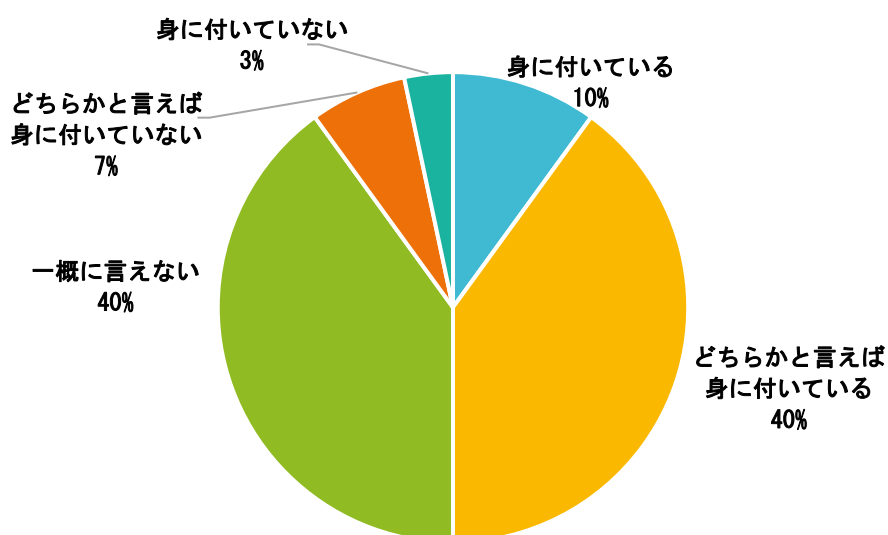
項目②「ケア・スピリット：相手の人生にとっての最善を目指して、自ら進んでケアに向かう姿勢を発揮できる。」では、「身に付いている」「どちらかと言えば身に付いている」の合計が 62%と高い傾向であったが、「一概に言えない」「どちらかとも言え身に付いていない」「身に付いていない」が 40%あり、ケア・スピリットが身に付いていると言うには弱い結果となった。

設問2. 卒業生に身に付いている知識や能力：③人間の 実践的理解



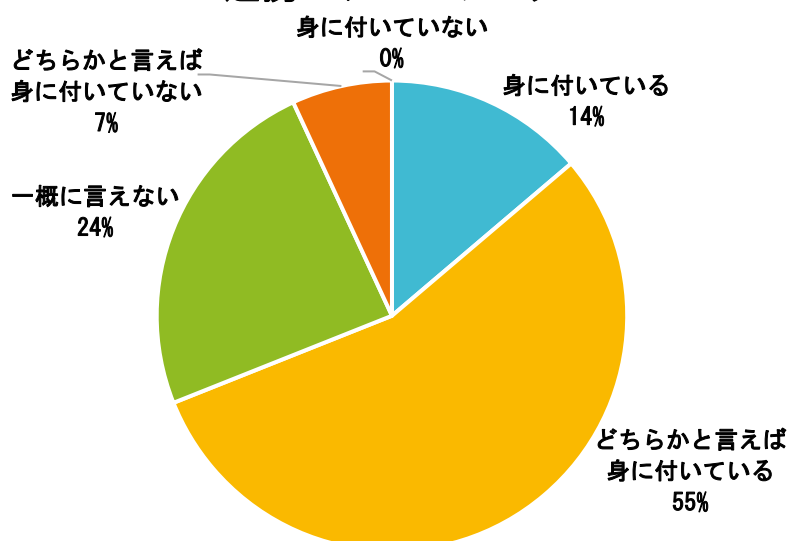
項目③「人間の実践的理解：ケアの相手の意向・気持ち・状況把握を共感的に理解しようと努めることができる。」では、「一概に言えない」が3割程度あるが、「身に付いている」「どちらかと言えば身に付いている」が69%と高く、相手を共感的に理解しようとする姿勢が身に付いている傾向であることが分かる。

設問2. 卒業生に身に付いている知識や能力：④専門的 知識・技術とその臨床実践



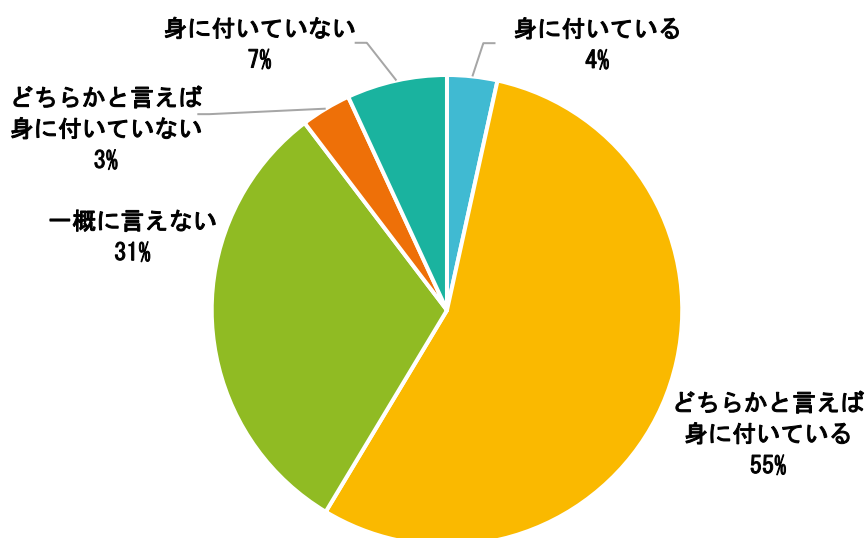
項目④「専門的知識・技術とその臨床実践：看護ケアに必要なコアとなる専門的知識・技術を備え、臨床の場での、具体的な対応に活かすことができる。」は、身に付いている割合が半数を切っていることから、卒業生において専門的知識や技術の修得は DP6 項目の中で最も不足している要素であることが分かる。

設問2. 卒業生に身に付いている知識や能力：⑤多職種連携・チームワーク



項目⑤「多職種連携・チームワーク：チームメンバーや多職種のケア従事者たちと連携・協働することができる。」は、身についている傾向が70%近くと高いことから、多職種との連携や職員間でのチームワークが上手く発揮されていることが分かる。

設問2. 卒業生に身に付いている知識や能力：⑥アドボカシー

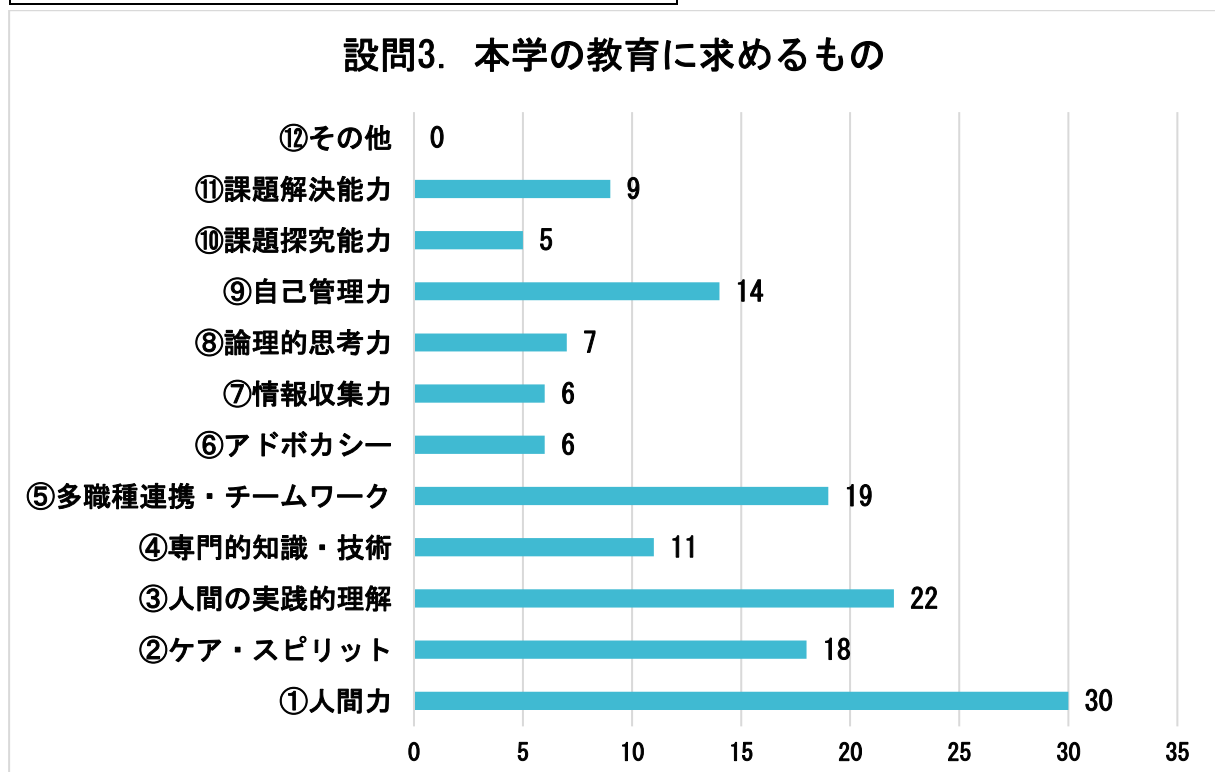


項目⑥「アドボカシー：ケアの相手の側に立って、そのよい人生のために支援し、必要に応じて代弁ができる。」は、身についている傾向が59%と伸び悩み、身に付いていない傾向も若干数見られた。相手に寄り添った客観的な視点や柔軟な対応力が弱い傾向であることが分かる。

【設問2の回答に関連した自由記述】

- ・入職された方は、現時点で求められている力はどちらかと言えば身につけていると思います。ただし、各設問の求めるものは相応に高いと思われましたので、ほぼ「3」としました。今後臨床で身につけていく内容も多いと感じました。
- ・患者さんのことを考えながら、看護実践を行っていると思います。
- ・今後看護師として成長していく上で活かされてくる知識や能力だと思います。現場でも活かすことができるよう指導していきたいと思います。
- ・保清ケアに関する快への取り組みに関して、積極性に欠ける。
- ・自己の評価を気にするあまり、先輩に確認することや情報を共有することが出来ず、自己流でケアを実践してしまう傾向がある。自分の未熟なケアによって患者がどんな影響を受けるか等、患者の気持ちまでイメージすることが苦手なようです。
- ・上記の事項は臨床の中でOJT等で培うものだと思います。
- ・日々の業務を適切に対応いただけてます。
- ・1年目の職員に対して、評価4～5を目指せるようサポートしています。
- ・人当たりがよく、医師や技士、看護補助者などの多職種とも問題なく連携できています。患者中心の看護を誠実に実践していると思います。専門的知識は業務をしながら徐々に勉強を進めて、身に付いてきていると思います。
- ・基本的な専門知識が身に付いておらず、先輩看護師の指導を受けながら安全に看護が提供できるように支技と勤務調整を行っている。リスク管理能力が低く、自己判断で業務を行うことや確認作業を怠ることがあり、繰り返し指導を行っている。

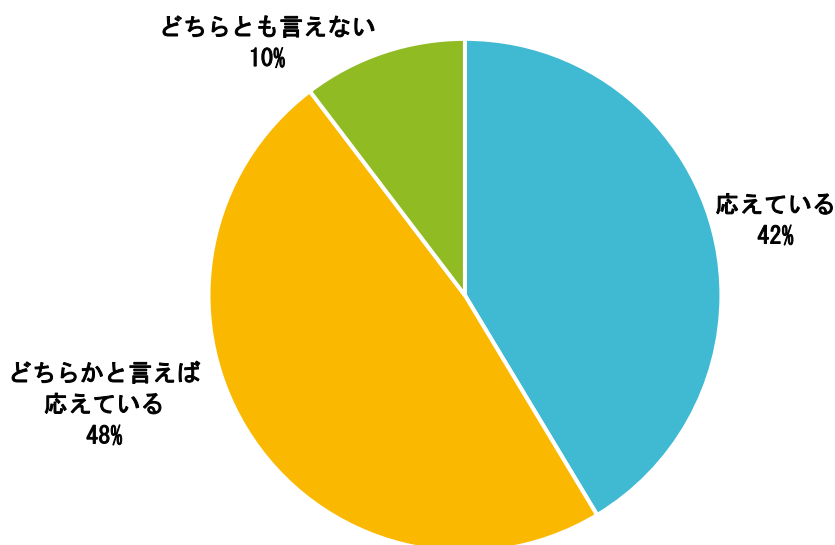
3) 設問3 本学の教育に求めるもの（複数回答）



「人間力」「人間の実践的理解」「多職種連携・チームワーク」等を求める回答が多く、いずれも卒業生の評価が高い項目が選ばれていることが分かる。

4) 設問4 卒業生が人材ニーズや期待に応えられているか

設問4. 卒業生が人材ニーズや期待に応えているか



「応えている」「どちらかと言えば応えている」が合計9割近くの回答となり、就職先での活躍や貢献が分かる顕著な結果であると言える。

5) 設問5 本学卒業生についてお感じになっていること、大学等への要望等について

【自由記述】

- ・ 社会人としての一般常識を身に付けて欲しい
- ・ 当院は主に精神科の病院なので、メンタル的に配慮が必要な場合は情報がほしいです。配置部署を決める際の参考にさせて頂きたいです。
- ・ いつも、何事にも一生懸命取り組んでいます。
- ・ 当院の理念にある「優しさといたわり」の心を持って、看護を行う卒業生が多いです。今後も人材育成をすすめてまいります。
- ・ 実際の業務では、多重課題や情報収集の多さ、そして全て限られた時間の中で対応することへジレンマを感じているようですが、それでも患者の個別性を重視した看護を提供するため努力しています。大学で学んだ知識や能力が基礎となっており、今後更に活かされると思います。
- ・ 日頃より主体的に業務に取り組むなど、とても頑張っていていただいております。
- ・ 常に患者さんのために、という視点を持ち行動できており、貴校の方針がしっかり身についていると思います。
- ・ 社会人としてどうあるべきかを、しっかり教えてほしい 社会に出て、求められていることを実践に繋げられるように指導、教育をお願いしたい。提出物は期日に間に合うようにすることなど。
- ・ 今回は、今年度卒業生の評価になります。まだ入職して数か月の評価になるので本来、評価するのは難しいと思います。が、当院のような規模の病院で卒業生が数名しかいない病院ですと、そのような卒業生個人を評価するアンケート回答になってしまうかもしれません。昨年、一昨年卒業し入職したスタッフはとてもよく頑張っており、リーダーシップも発揮しているため、設4は5と評価しました。設問2は当該看護師長が評価していることをご了承ください。
- ・ 当センターに入職していただき感謝しております。卒業生の方々は意欲的に看護を考え、チームの中でも人間関係を大事に力を発揮しており、これからに期待できる人材です。

- ・貴校に限りませんが、卒業時、社会人基礎力や体調管理などが備わっていれば、現場でのOJTで看護職として成長していけると思います。
- ・個人の性格もありますので一年目で評価は、難しいと思います。
- ・誠実な方が多く、職員間でトラブルはありません。今後ともよろしくお願いします。
- ・まだ一人前ではないため、先輩と共に日々現場で頑張っています。素直で患者に真摯に向き合っています。
- ・4年目となり病棟でも中心を担う年代となってきましたが、それに応えようと一生懸命に取り組む姿は好感が持てますし、とても頼りにしています。